



Safe Crop Project News



No.21 2019年6月発行

「ベトナム北部地域における安全作物の信頼性向上プロジェクト（2016年～2021年）」は、北部地域2市11省において、「Basic GAP (Good Agricultural Practices)」を始めとする安全作物栽培の技術規範に沿った生産活動、消費者の安全野菜への信頼醸成、及び、多様なサプライチェーンの構築を支援することで、対象地域における安全作物栽培の振興を目指します。

対象グループの紹介ービンフック省

今号では、セミパイロット省ビンフック省で選定された Dai Loi 安全野菜農協、Vinh Phuc 安全野菜農協と Visa 安全野菜農協を紹介させていただきます。以下、ビンフック省 DARD に紹介レポートをいただきました。

Dai Loi 安全野菜農協

Dai Loi 安全野菜農協は、Phuc Yen 市に位置し、10.1ha の農地で VietGAP を取得し、14 世帯が通年で安全野菜栽培に従事しています。栽培される野菜は、空芯菜、アマメシバ、サラダ菜を始めとする葉菜類、ヘチマ、カリフラワー、コールラビ、キャベツやハーブ類と多様で、年間の生産量は1,160 トンに及びます。



Dai Loi 安全野菜農協におけるハーブ栽培

野菜栽培エリアが集中しており、また世帯数も少ないことは、農地の生産計画とモニタリングに好条件となっています。混作や輪作のパターンは経験と条件によって世帯ごとに異なりますが、いずれの世帯も、顧客から発注された種類と数量を満たすため、農協の計画に沿って日々細かく生産スケジュールを調整しています。野菜の安全性を確保するため、農協では肥料や農薬といった農業資材を供給しており、各世帯は生産区画にサインボードを設け、VietGAP に沿った生産、記帳を行っています。

前処理施設は、収穫後の食品安全と衛生を確保できるよう、原料野菜入荷エリア、前処理エリア、パッキングエリアに分かれており、ハノイ市の安全野菜ショップやスーパーに出荷する商品（生産量の40%）にはトレーサビリティを確保するためのQRコードを貼付しています。残りの60%はトレーダーや Phuc Yen 市の市場に販売されています。

Vinh Phuc 安全野菜農協

Vinh Phuc 安全野菜農協は3ヶ所(Tam Duong 郡の Kim Long コミュニティと Van Hoi コミュニティ、及び、Tam Dao 郡の Ho So コミュニティ) 5.32 ha において、42 世帯が安全野菜栽培に従事しています。組合の主力野菜は、ヘチマ、ハヤトウリとその蔓、モロヘイヤや白菜等の葉菜類で、年間生産量は710 トンです。



Vinh Phuc 安全野菜農協のハヤトウリ栽培圃場

市場に出荷する野菜の安全性と衛生の確保が為されるよう、各生産エリアには技術スタッフを配置し、生産技術指導やモニタリング管理を行っています。また農協では、生産される野菜の最適な成長と品質を確保するため、種子、肥料、農薬等の農業資材も供給しています。各メンバーは生産区画にサインボードを設け、VietGAP に沿った生産、記帳を行っています。

農協は1,000m²の前処理施設 (Kim Long コミュニティ) と輸送トラック1台を所有しており、メンバーが栽培した野菜を市場価格よりも1.2~1.5倍高い価格で買い取り、前処理施設にて、それぞれの顧客からのリクエストに沿った仕分けとパッキングを行った後、学校や工業区の食堂に出荷する大規模な卸販売業者や大手スーパーに出荷しています。今後、既存の顧客との取引強化と共に、新規顧客を開拓して市場を拡大することで、メンバー農家の生産エリア拡大を目指していきます。

Visa 安全野菜農協

Visa 安全野菜農協は、Yen Lac 郡における7ha (内5haは組合農地で VietGAP 認証を取得、2haはメンバーの農地) で安全野菜生産を行っています。栽培される野菜は多岐に渡りますが、主力商品はアマメシバ、空芯菜、トマト、バジル、レモングラス、クレソンです。

出荷される野菜にはバーコード、QRコードが貼付されており、消費者が農産物の産地を確認することが可能となっていま



パッキングされたアマメシバ

す。また、収穫される野菜の安全性と品質管理を徹底するため、内部モニタリングや年 2 回の内部監査を実施しています。

現在農協は、安全野菜を大手スーパー、安全野菜ショップ、工業区の食堂に出荷しています。今後、更に学校、病院の食堂、マンション等の住人に販路を拡大すると共に、組合のブランド広報と野菜販売を行う店舗の設置を目指しています。将来的には海外への輸出も視野に入れていきます。

共同販売

これまでもニュースレターの中でプロジェクトが推進する活動として「共同販売」について触れてきました。小規模農家世帯が栽培工程の透明性と流通のトレーサビリティを確保し、市場において評価可能な安全性という付加価値をつけて、モダントレードに販路を開拓していくためには、共同販売体制の構築が必要となります。本プロジェクトの対象グループは、農協、生産者グループ、(小規模)農業生産法人によって構成されていますが、本コーナーでは農協における共同販売について特集させていただきます。

農協の設立背景

現在の農協は 2012 年に制定された協同組合法^{*1} が設立根拠となっていますが、その設立背景は、旧農協のメンバーがそのまま 2012 年制定の協同組合法に沿って再編成された、旧農協の一部のメンバーによって再設立された、2012 年以降に全く新規に設立された等、様々です。

特に旧農協から再編成された農協の中にはコミュニケーションにおける社会経済活動(灌漑管理、農業技術普及、公共サービスに係る普及活動等)を担う母体としての側面が強かった合作社の名残があり、野菜の共同販売経験がない農協も多くあります。

共同販売の条件

次に共同販売体制の構築に必要な条件について、簡単に整理します(図 1 参照)。

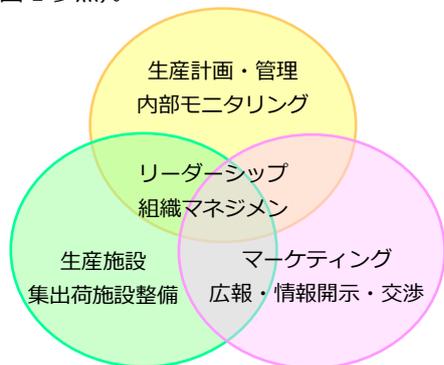


図 1：共同販売の条件

生産管理：

農協における生産計画作成、及び、計画通りの生産と品質・安全性の確保が為されているかモニタリング管理することは、市場のニーズに適い、且つトレーサビリティが確保された安全野菜を共同販売するための基本的な条件となります。本プロジェクトでは、生産管理支援として、対象グループの生産計画作成、記帳の徹底、簡易テストによる生産された野菜の残留農薬チェック、作期毎の内部監査の実施等を支援しています。

以上、ビンフック省 DARD にレポートいただきました。いずれの農協もビンフック省の気候条件を活かしながら、安定的に安全野菜生産を発展させてきました。それぞれの農協で目標となっている販路拡大に向けては、更なる品質向上が必要となります。プロジェクトでは冬作に引き続き、夏作でも PPMU (Provincial Project Management Unit) と協力して、品質改善に繋がる技術支援等を実施中です。

マーケティング：

共同販売の前提として、潜在的なバイヤーにアプローチし、農協及び生産工程や安全性に係る情報を開示してバイヤーからの信頼を得て、適切な価格での取引を成立させる必要があります。プロジェクトでは、対象グループのプロフィール、ロゴ等のマーケティングツールの作成支援や潜在的なバイヤーとのマッチング支援を行うと共に、バイヤーからのフィードバックを記録に残し、品質や安全性の改善に反映させる体制整備も支援しています。

設備整備：

共同販売が可能となった段階で、より付加価値をつけてスーパー等に販路を拡大するためには、収穫後に適切な処理を行う集出荷施設や品質改善と差別化を図るための生産設備の整備が必要となります。ベトナムでは現状、担保設定が難しい農協が銀行から直接ローンを借入れることは困難で、ネットハウス等の生産設備や基本的な集出荷施設を備えた農協は、組合長を中心とする一部の役員が資金を準備する、又は、ドナー機関や省政府の支援を得ること等を通じて整備を行っています。本プロジェクトでは野菜の安全性と品質の確保に見合うよう、農協の既存の集出荷施設の改修やネットハウスの設置支援を農協の経済的な自立性を損なわない範囲で行っています。

リーダーシップ：

生産管理、マーケティング、設備整備をバランス良く行いながら、安定的に共同販売を発展させていくためには、組合長を始めとする役員のリダーシップが要となります。生産計画やメンバーからの買取り価格の設定等組織内の調整に加え、価格・条件交渉等、バイヤーとの調整能力が求められます。更に、市場価格が変動する中で、農協メンバーの利益を確保しながら、管理費等の必要経費を差し引いた後に農協の利益も上げられる共同販売を実現するためには、経営能力も求められます。

今回は農協における共同販売の概要について紹介させていただきました。次回は、対象グループの農協が共同販売を実現するまでの道のりや今後の展望と課題について紹介させていただきます。

^{*1} 日本の農業協同組合法が農業者を対象としているのに対し、ベトナムの協同組合法は経済セクター全般における協同組合と協同組合連合の設立と運営について規定しています。最低出資金は組合の定款によって定められた額とされており(第 1 章第 4 条)、出資金はベトナムドンとベトナムドンに換算されたそれ以外の資産(外貨、物、土地使用権、知的所有権、その他有価書類)と定義されています(第 5 章第 42 条)。

皆様のご意見・ご感想をお待ちしております

JICA プロジェクト事務所

Room 201, Department of Crop Production, Ministry of Agriculture and Rural Development,
2 Ngoc Ha Str., Ba Dinh Dist., Hanoi, Vietnam
Tel/Fax : +84 24 3244 4373, Email: safecropproject@gmail.com